

## 決 議

町村は、長い歴史の中で育まれた独自の文化に加え、自然や国土など地域を守りながら、食料の安定供給や水資源の涵養など国民生活を支える重要な役割を果たすとともに、活力ある地域を次代に継承していくことが課せられてきた。

しかしながら、我が国全体で急速に進む少子高齢化による人口減少は、地域産業の担い手の不足を招くとともに、近年の新型コロナウイルス感染症の流行や国内外の目まぐるしい情勢の変化等が、町村の社会経済環境に深刻な影響を与えている。

町村では、これまでも地域の実情に応じて人口減少や主要な産業である農林業等の課題に対応してきたが、地域経済の状況が厳しさを増す中で、独自の創意工夫を凝らして、都市から地方へのひとの流れを生み出し「未来への投資」を強化するなど、地方創生の実現に向けた一層の努力が求められている。

我々町村長は、連携を一層強化し、住民一人ひとりが豊かさゆとりを実感できる地域づくりを進めるため、全力を尽くす決意である。

町村がそれぞれの個性を活かした多様で活力ある地域を形成し、次世代に引き継ぐためには、町村自治の確立とその前提となる財政基盤の強化が不可欠であることから、下記事項の実現を図るよう強く求める。

### 記

- 1 災害に備えた治山・治水・砂防等の公共事業を一体的かつ効果的に推進するとともに、災害が発生した際には、迅速な人的支援や災害査定等を踏まえた復旧を実施すること。
- 1 地域公共交通の確保のための制度を拡充するとともに、事業者支援、路線維持に向けた財政支援策を充実させること。

- 1 町村で不足している公共土木やD X推進等の専門技術が求められる職員の確保対策を町村と協力して行うこと。
- 1 医師・保健師等の医療人材及び保育・児童福祉人材の育成・確保対策を推進すること。
- 1 国民健康保険制度の安定運営と、介護保険制度の円滑な実施のため、財政基盤の強化や人材育成の充実を図ること。
- 1 国内外の経済環境の変化や原油価格・物価高騰への対策を講じるとともに、産業の人材確保など、地域経済の活性化を推進すること。
- 1 農業の成長産業化や農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るとともに、農業の担い手の育成・確保や農業基盤整備を推進すること。
- 1 農業資材等の高騰対策を講じるとともに、就農意欲の低下や耕作放棄地の増加を防ぐための制度運用を推進すること。
- 1 高規格道路等の道路整備を促進するとともに、河川・砂防施設等の整備を促進し、災害対策の充実、産業の活性化、生活の利便性の向上を図ること。

以上決議する。

令和5年10月16日

長野県町村会 第37回定期総会